

# GOOD NEWS CORPS 海外ボランティア体験コンサート PEACE FESTIVAL



私たちは1年間、海外ボランティアとして世界約80ヶ国に派遣され、若さを捧げて現地の人々の心を掴むボランティア活動を終えて帰国しました。

現地の人と共にした喜びと楽しさ、劣悪な環境の中での生活など、自国では経験できないことの数々でした。

この貴重な体験をダンスやミュージカル、演劇、体験談発表などの多様な文化公演を通して、皆さんとともに分かち合いたいと思います。

13ヶ国の450名の大学生が国際交流のために参ります。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

2018. **2.26(月)** 午後7:00-9:00

**福岡市民会館** [大ホール]  
FUKUOKA CIVIC HALL

◎後援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、福岡市文化芸術振興財団、NHK福岡放送局、駐福岡大韓民国総領事館(予定) (順不同)



2018. **2.27(火)** 午後7:00-9:00

**広島国際会議場** [フェニックスホール]  
INTERNATIONAL CONFERENCE CENTER HIROSHIMA

◎後援 広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会 (順不同)



皆さまをご招待します

入場無料

- ・対象 大学生を中心とした青少年及び一般の方々
- ・主催 特定非営利活動法人 国際青少年連合(IF)
- ・開催内容 ミュージカル、各国の伝統舞踊、創作ダンス、歌、トールストーリー、GNCの紹介など

- ・お問合せ (福岡) 092-481-2244 (担当: リ・ジンホ 080-3978-5832)
- (広島) 082-516-6697 (担当: シン・ジンホ 090-6438-3737)



## GOOD NEWS CORPS PEACE FESTIVAL は

世界各地でボランティア活動を行ってきた青年たちの体験を伝える場が設けられました。

国際青少年連合が主催する海外ボランティア体験コンサートのグッドニュースコア/ピースフェスティバル『青春世界を抱く』が開催されます。

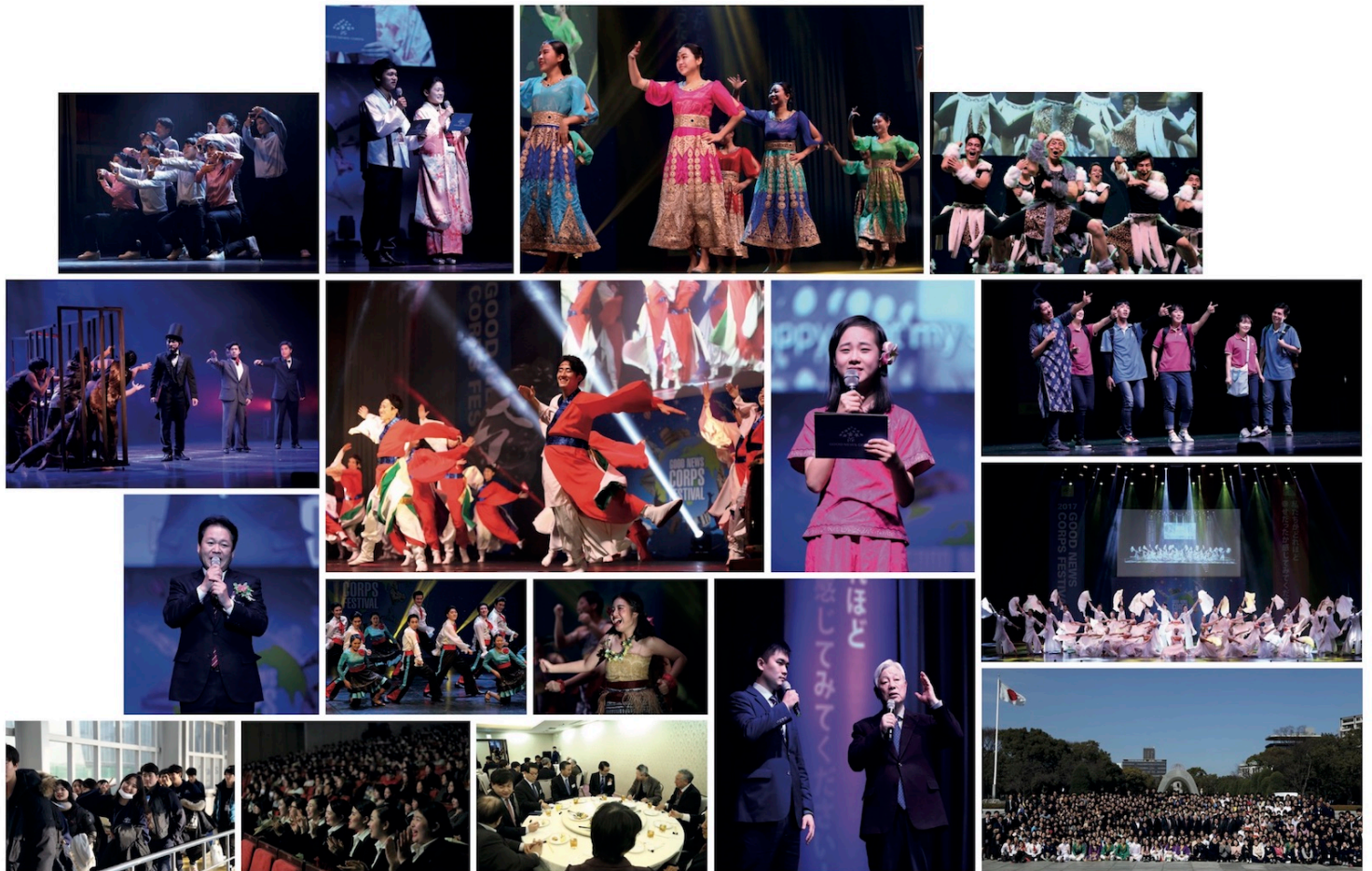
今年で16回目の開催となる当イベントの主役は、海外ボランティアに行ってきた学生たちです。彼らは、世界80ヶ国に派遣され、活動してきた大学生です。ミュージカル、トゥルーストーリー、世界の文化公演、体験談、マインド講演などを通し、彼らが経験した特別な思いを伝えようと、行事の企画から進行及び公演まで、すべてを大学生たちが進めます。

韓国のクアンジュから始まり、ソウル、プサン、テグなど11の主要都市を経て、日本の福岡、広島でも公演が行われ、今回が2回目となります。

グッドニュースコア海外ボランティアは「知性だけではなく、謙遜さそしてリーダーシップを持つすぐれたグローバルなリーダー」を育成することが目標であり、そのための書類審査と面接を行い、ワークショップ、教育課程履修など所定の教育を受けたのちボランティアとして派遣するシステムとなっています。現地では教育、社会奉仕、文化外交、民間外交、言語活動、文化体験などの活動を行います。

2017年の一年間で400人あまりの若者が世界各地に派遣され、成功的にボランティア活動を終えて帰国しました。このピースフェスティバルは、現地で様々な文化を味わった彼らのリアルな体験を支援して下さった方々にお届けしたく設けられた場であります。

## GOOD NEWS CORPS PEACE FESTIVAL 公演様子



## 2017年にご来場頂いた方々の声をご紹介します

### In 福岡

- ・学生達の本当に楽しそうなステージをみて感動して涙が出ました。海外ボランティアに参加したいと思いました。ありがとうございます。(20代)
- ・感動しました。このようなイベントを沢山してほしいです。(30代女性)
- ・こういう会があることも知りませんでした。良い機会でした。子どもが大きくなったら参加できると良いです。(30代女性)
- ・大学生になったら海外ボランティア学生になりたいと改めて思いました。(10代女性)
- ・いっぱいパワーをもらいました。(40代女性)
- ・パフォーマンスのレベルがとても高く、内容も心から感動しました。(20代女性)
- ・海外でのボランティア活動について無知だったため、とても刺激を受けました。とても貴重な体験をありがとうございました。(20代男性)

### In 広島

- ・同じ大学1年生が世界中で頑張っている様子を見てとてもいい刺激を受けました。これからもこの活動を広めてほしいと思いました。(10代男性)
- ・最初から最後までずっと楽しく感動しました！笑顔がステキでした！私もやってみよう！(10代女性)
- ・MFの活動を初めて知りました。このフェスティバルを通して、心の豊かさ、希望を持つこと、世界は1つということを感じました。(40代)
- ・Very fun, interesting, amazing! Feels like to dance together also! Feels thankful of life & want to join! (20代女性)
- ・人の身体は、心の持ちようだと思う良い機会でした。(70代)
- ・子供たちに世界の事を教えられる素晴らしい機会になりました。いいステージありがとうございました。(30代女性)
- ・現代文化にそまらすぎている息子にとってもいい刺激になったと思います。生きる力を感じることは必要ですね。(40代女性)

# GOOD NEWS CORPS とは

海外で1年間、現地人との生活をしながら、MFモットーである「挑戦・変化・連合」を通して自国の民間外交官の役割を果たしている。

## 主な活動

- 教育奉仕活動 音楽、パソコン、マインド講演、ダンスなどの無料アカデミー教室
- 社会奉仕活動 自然保護クリーンキャンペーン、老人ホーム訪問・被災地慰問、現地の人々と現地地域のための奉仕活動等
- 文化外交活動 文化(伝統衣装、料理、遊び)教室、語学教室
- 民間外交活動 リーダースフォーラム、著名人講演

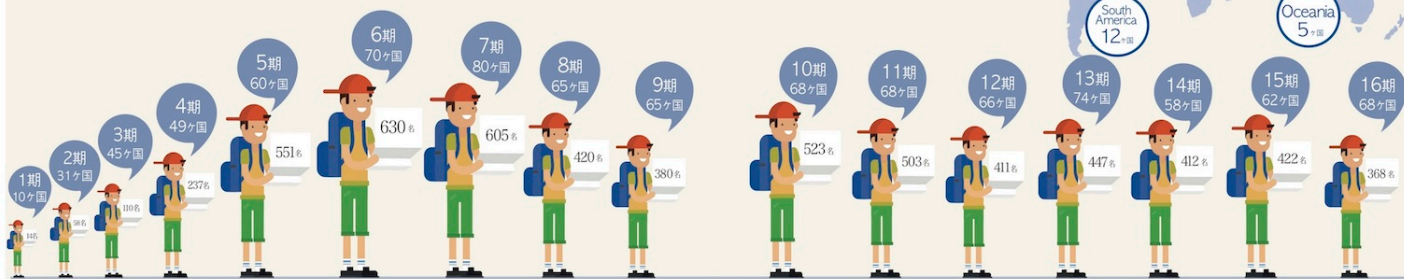


累積派遣人数  
6,091名

16年間にわたる海外ボランティア派遣

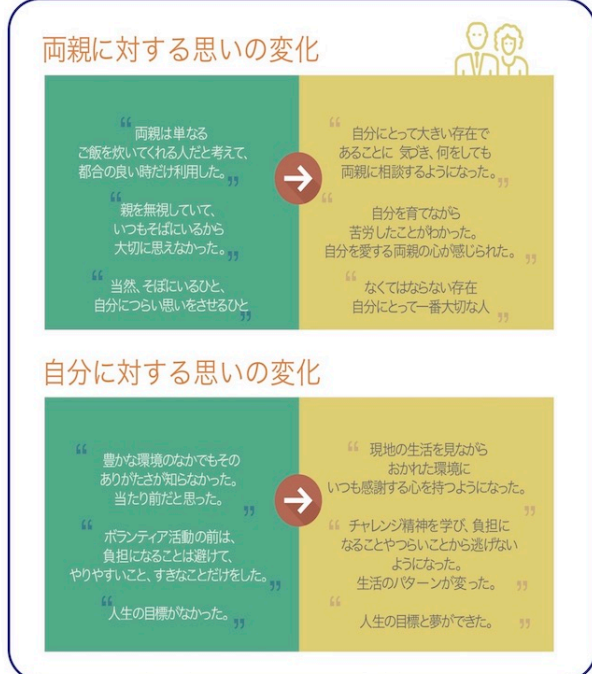
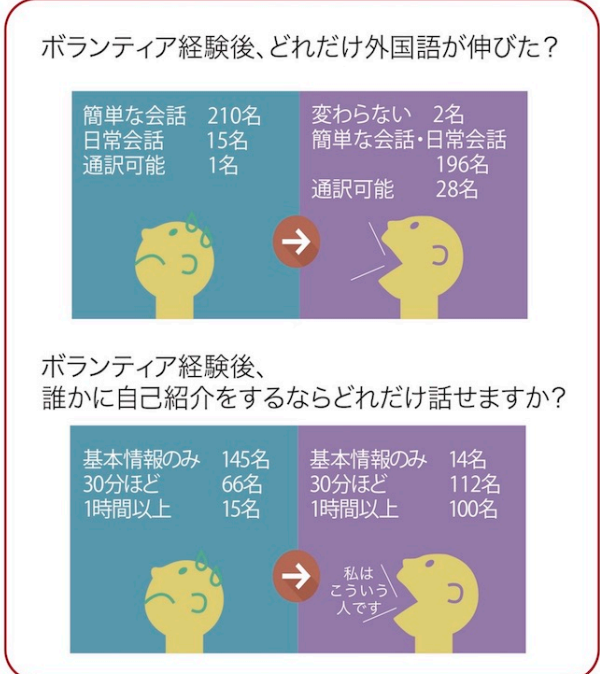
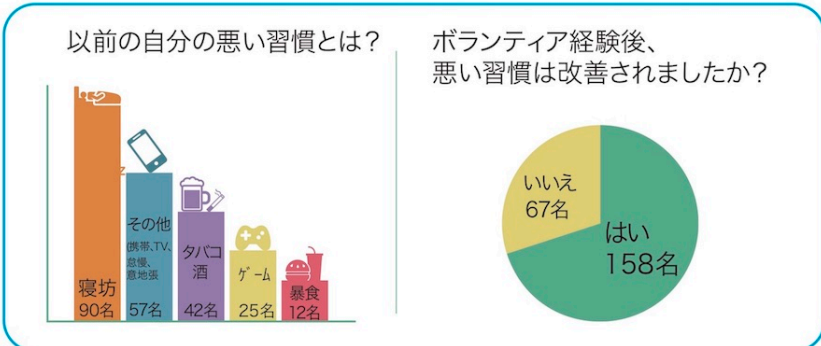
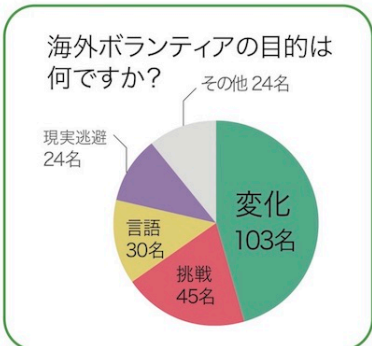
## 海外ボランティアの歴史

GNCは、2002年にはじまり、17年間全世界へ海外ボランティアを派遣しました。現在、民間外交官として社会奉仕活動や対外交流、文化交流など様々な分野で活発に活動しています。



15期の体験学生たちのアンケート

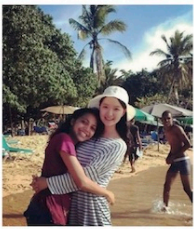
## われわれは、こう変わった!



## GOOD NEWS CORPS 活動の様子



## GOOD NEWS CORPS 体験記



イ・ジュエ in ドミニカ共和国

ツバメに頼んで貧しい人たちに自分の宝石を分け与えながら、幸せを感じる幸せな王子。貧しい家庭環境の中で成長した私にとってこの話は、ただの夢物語に過ぎなかった。学費がなくて学校と夢をあきらめざるをえなかった学生時代。自分は何もできない

という被害妄想が強かった。そんなある日、偶然、知り合ったグッドニュースコア海外ボランティアは、スペックを作るために申し込んだ。

ドミニカ人は、熱い太陽の光のように熱情的で明るく好意的だった。しかし、綺麗で大きな目の影には、何かを求めているように見えた。うんざりする自分の状況と重なり、彼らの純粋な好意も素直に受け止められなかった。ある日、マンゴーをくれる友達に皮肉った言い方で訊いた。「なんで私に、こんなに優しくしてくれるの？私は何もしてあげられないのに」とすると、友達は「あげたらあなたが幸せになるでしょ？あなたが幸せになると私が幸せになるからね」まさに、幸せな王子の心もこうだったのかなと思った。彼らの気持ちが変わり、自分にも暖かい幸せが実り始めたのだ。その幸せは、自分を価値のある人にしてくれた。貧しさを言い訳に一生被害者として生きてきた私の心が開き始めた。真のスペックとは、幸せを分かち合うことができることと他の人の真実を受け入れ始めることが本当の分かち合いであることを知った。私にこういう心を教えてくれたグッドニュースコアそしてドミニカのみんなに感謝している。



イ・デヨン in 南アフリカ共和国

「真面目だね。頭もいいし。」  
幼少期はいろんな問題を抱えている家庭の中で一生懸命生き、いつも褒められる子だった。そんな僕は、行きたかった大学にも良い成績で入学でき僕はなんでも一生懸命にすればできる人間なのだと思うようになった。

しかし、その自信がいつしか周りからの助言を受け入れず、自分がやりたいことだけを集中してやるようになっていた。周りの人との意思疎通ができないまま、時間だけが過ぎていった。自分を信じるのが、僕を人生の中で終わりのない苦しみと追いやるとは思ってもなかった。大学入学後すぐに友達と酒やゲームの誘惑に溺れていた。自らはそこから逃れることができなかった。両親には申し訳ない思いでいっぱいだった。僕は誓った、「明日からは絶対にゲームを止めるんだ」しかし、その決心と覚悟は僕を変えざるを得なく、ゲームに溺れていく自分自身が嫌でたまらなくなった。数年後、偶然グッドニュースコア海外ボランティアのチラシを見つけた。ポスターの中に移る団員たちの笑顔が、世界に対し閉ざしていた僕の心を叩き、25歳という（他の団員よりも）遅い年齢であったけれど、海外ボランティアに行くことを決めた。僕は、南アフリカ共和国で韓国語アカデミー、テコンドーアカデミー、子供キャンプ、心を動かすキャンプなど、多様なプログラムに参加した。その際、団員の中で年齢が一番上だった僕がチーム長を務めることになった。リーダーとしての責任をうまく全うしたかったし、やればできると思っていた。しかし、時間が経つにつれ他の団員達との間に亀裂が生まれるようになり、行事の際もうまくまとめることができないでいた。そんな時、現地の友達が声をかけてきた。「なんで一人でしようとするの？私もあなたを手伝いたいのにあなたが心を閉ざしているから助けられないじゃない！」一人でうまくすること、当然のことだと思っていればよかった。僕の固定観念が一つずつなくなり、人と意思疎通しながら周囲の人たちと心を通わせることの大切さを学んだ。僕の人生のターニングポイントになった。

世界が注目している

## 著名人が語るGOOD NEWS CORPS

GOOD NEWS CORPSボランティア学生たちに出会った現地の政府や教育機関、メディアの関係者らは、彼らのモットーを高く評価しています。



GOOD NEWS CORPSが海外の青少年たちと継続的な交流をし、NFモットーを広めながらその価値観を分かち合えたと思います。

又、その時間は、学生たちにとって一生の宝物になると信じます。

レント王国 教育部大臣  
マハリ パモセ(Mahali Phamotse) 氏



GOOD NEWS CORPSのボランティア活動は、人の心に感動を与えます。彼らの心を受けた人は、愛の溢れる人になり、変わると確信します。

パラグアイ前大統領  
フェルナンド・ルーゴ  
(Fernando Armindo Lugo Méndez) 氏